

## 畑議長 ぶら下がり取材概要

日 時：令和3年4月6日（火） 13：40～13：47

場 所：議事堂第一応接室

（福井新聞）

- ・議会として今後の議論の進め方やスケジュール感は。

（畑議長）

- ・スケジュール感はないが、知事から、国や事業者の対応状況について報告があったので、各派代表者会議をまず開かないといけないと考えている。また、（県原子力安全専門委員会の）報告書も出てくるので、現地の視察をしないといけないと考えている。各派代表者会議にかけ、どのように対応するか見てみないとわからないが、できるだけ早くやらないといけないという思いは持っている。

（NHK）

- ・本日の報告について、議長として内容は十分という所見か。

（畑議長）

- ・十分、不十分は判断が難しいが、ある程度国としては方向性を出してきたと思っている。共創会議や、25億円の電源三法交付金を新しく出してきたこと、青葉トンネルの事業費など、ある程度評価するものはあると考えている。

（県民福井）

- ・各派代表者会議の中で議会の議論の進め方を確認するということだが、6月定例会はまだ先だが、休会中に議論が進む方向になるのか。

（畑議長）

- ・2月定例会で、365日いつでもという話もあったので、やらなければならないと思っている。

（県民福井）

- ・できるだけ早く議論を進めていくということだが、急ぐ理由は。

（畑議長）

- ・40年超運転という重要な案件であるので、判断に時間をかけるべきではないと考えている。いろいろなことが手順を踏んで進む中で、協議をし、話が煮詰まれば、6月定例会前でも決めていくものは決めていくという意味である。